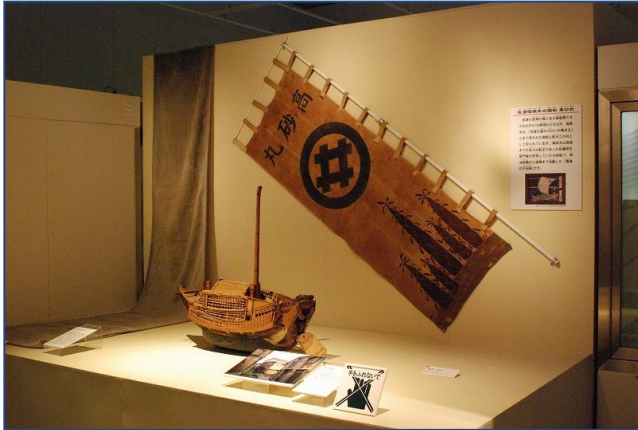


新潟県立歴史博物館・兵庫県立歴史博物館

新潟・兵庫連携企画展「北前船」

開催期間：新潟 平成27年7月25日（土）～ 9月6日（火）

：兵庫 平成27年9月19日（土）～11月3日（火）



【企画展の内容・目的】

- 江戸時代から明治にかけて、日本海から瀬戸内にかけて活動した北前船をテーマに、新潟・兵庫両県を代表する歴史博物館が連携して紹介する展覧会。
- 北前船の形や商売のあり方、運んだ産物や港町の様子を紹介する展示をとおして、海が人々のくらしや経済を支える大動脈の役割を果たしていたことや、地域間の交流を広げていく舞台ともなっていたことへの理解を深めていただく機会とした。
- 展示会場内外で講演会を開催するとともに、折紙作り、船絵馬作り、クイズラリーなど楽しみながら展示内容に触れるイベントを行い、北前船をとおして、現代にも通ずる海運の重要性を再認識していただいた。
- 北前船をとおした地域間交流の歴史への理解をとおして、今日における地域作りへのヒントを得ていただく機会とした。

1. 企画展示の内容

- 開催期間：新潟 平成27年7月25日（土）～ 9月6日（火）
兵庫 平成27年9月19日（土）～11月3日（火）
- 開催場所：新潟県立歴史博物館 企画展示室
兵庫県立歴史博物館 ギャラリー1・2・3
- 入場者数：新潟県立歴史博物館 6,879人
兵庫県立歴史博物館 9,876人

【新潟県立歴史博物館】



新潟県立歴史博物館 外観



新潟県立歴史博物館 企画展会場入口



新潟県立歴史博物館企画展会場の様子



北前船船首バナー
～船の大きさを体感していただきました～



船絵馬や船の設計図面をとおした
北前船の形の紹介



産物マグネット
～港が海運と河川舟運の接続点にもなっていたことを体感していただきました～

【兵庫県立歴史博物館】



兵庫県立歴史博物館 外観



兵庫県立歴史博物館 企画展会場入口



担当学芸員による展示解説の様子



北前船ゆかりの寄港地観光パンフレットの紹介



展示会場の様子



解説ボランティアによる解説を随時実施



屏風や絵図、古文書をとおした北前船が寄港した港の紹介



産物マグネット

～展示を見た上で、海をとおして運ばれた北からの産物、南からの産物をマグネットシート上で動かしてみても、物流のあり方を学んでいただきました

【来館者の声】

- 海が物流の基礎であると改めて認識した。
- 江戸時代、北前船を通じて日本各地がつながっていたことがよくわかった。
- 北前船が海をとおして物流の循環を担っていたことがよくわかった。
- 日本海の荒海を航海する工夫として船筆笥などがおもしろかった。大切にしたい。
- ニシンが肥料になるとは知らなかった！ 畑の作物にも海の産物が関わっていると知った。
- 水運がかつては陸路同等かそれ以上に経済にとって重要であったと知り、興味がわいた。
- 海はとても危険であるけど、それを突破して、いろいろな海産物を取引し繁栄しているのがわかり、また海は大切な食料源の一つであることもわかり、大切にすべきと感じた。

2. 関連事業の内容

■関連講演会

- 【開催日時】① 平成27年 8月 9日(日) 13:30~15:00
② 平成27年 8月30日(日) 13:30~15:00
③ 平成27年 9月27日(日) 14:00~15:30
④ 平成27年10月18日(日) 14:00~15:30

- 【開催場所】①、② 新潟県立歴史博物館 講堂、
③、④ 兵庫県立歴史博物館 ホール

- 【参加者数】① 83人 ② 131人 ③ 140人 ④ 122人
合計476人

【実施内容・目的】

- 「北前船」関連研究の第一線の研究者や地域で「北前船」の研究を積み重ねてこられた研究者を招いて講演会を開催した。
- 全国的な「北前船」の研究や各地域における研究の現段階についての講演をとおして、「北前船」の歴史全体や文化の伝播、地域間交流など寄港地の繁栄と海運との関係性について、わかりやすく解説した。



- ①「新潟湊祭の歴史と文化」
・北前船による文化伝播、波及の例として新潟湊祭の特色についての講演
講師：福原敏男氏



- ②「越後・佐渡の北前船主
—近代新潟県の産業化と海運—」
・糸魚川伊藤家を中心に北前船主の「その後」についての講演
講師：中西聡氏



- ③「姫路奈良屋と出羽酒田本間家・大石田・二藤部家との関係」
- 江戸時代の姫路の木綿商人奈良屋と出羽の酒田や最上川流域との取引や交流についての講演

講師：三浦俊明氏



- ④「諸国廻船が往来した海の道―但馬・瀬戸内・大坂―」
- 北前船の概要や、但馬の諸寄や竹野をはじめとする港の姿、廻船の活動状況の変遷などについての講演

講師：安本恭二氏



講演会 会場の様子
新潟県立歴史博物館



講演会 会場の様子
兵庫県立歴史博物館

【来館者の声】

- 講師の熱っぽい語り口に感心しました。具体的で資料も豊富でわかりやすかった。
- 海をとおして幅広い地域がつながっていたことがよくわかった。
- 今回のような講演をもう少し細かい地域ごとに開設していただけるとありがたいと思います。

■リレー講演会

【開催日：場所】

- ①平成27年7月 4日（土）13：30～15：00
：佐渡市消防本部防災センター多目的ホール
- ②平成27年7月11日（土）13：30～15：00
：村上市教育情報センター視聴覚ホール
- ③平成27年7月20日（月）13：30～15：00
：直江津学びの交流館多目的ホール
- ④平成27年8月 5日（水）13：30～15：00
：新潟日報メディアシップ日報ホール
- ⑤平成27年9月21日（月）14：00～15：30
：兵庫県美方郡新温泉町諸寄基幹集落センター集会室
- ⑥平成27年9月22日（火）14：00～15：30
：神戸市立兵庫勤労市民センター講習室

【参加者数】①82人 ②67人 ③86人
④143人 ⑤65人 ⑥72人
合計515人

【実施内容・目的】

- 関連講演会と同様に「北前船」の歴史をとおして、海が経済・生活の基盤となり、文化交流の舞台となっていたことを知っていただいた。
- 展示会場以外の場所で関連講演会を開催することで、展示会場に足を運ぶことが容易でない地域の方々にも、講演をとおして「北前船」の歴史全体や文化の伝播、地域間交流など寄港地の繁栄と海運との関係性について再認識していただく機会とした。



①「新潟湊からみた北前船」
・新潟湊と佐渡を中心に北前船の経済活動についての講演
講師：安宅俊介氏



②「村上地域の廻船と北前船」
・村上地域の船の北前航路における活躍についての講演
講師：菅瀬亮司氏



③「北前船と頸城の浦・湊」
 ・頸城地域の地回り廻船を中心に、北前船と地域の関係についての講演
 講師：原直史氏



④「北前船の実像」
 ・北前船の全体像についての概説的な講演
 講師：松木哲氏



⑤「兵庫の北前船―但馬の船を中心に―」
 ・但馬の事例を中心に、北前船の概要や兵庫県における北前船の活動についての講演
 講師：前田徹（兵庫県立歴史博物館）



⑥「北前船と兵庫津～神戸の港町」
 ・江戸時代の兵庫津を舞台とした北前船の活動や町の姿の変化についての講演
 講師：大国正美氏

【来館者の声】

- とてもおもしろいお話でした。はしょった部分も詳しく聞きたかった。北前船が文化をも運んできたということがよくわかりました。
- 県立歴史博物館の企画展に行きたいが、県北では遠いので、今回のようなリレー講演会を望む。
- 北前船の概念が理解できました。蝦夷地でのロシアとの交易の話に非常に興味をもちました。また、鯨と北前船の関係を初めて知りました。

■折紙づくり

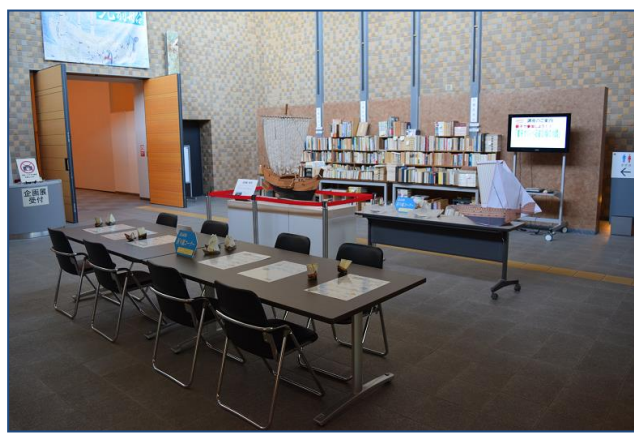
【開催日時】①平成27年7月25日（土）～9月6日（日）随時開催
②平成27年9月19日（土）～11月3日（火）随時開催

【開催場所】①新潟県立歴史博物館 ロビー
②兵庫県立歴史博物館 ギャラリー1

【参加者数】①3,000人
②4,000人
合計7,000人（いずれも折紙配布数による）

【実施内容・目的】

- 企画展のテーマでもある「北前船」の折紙を作る体験をとおして、企画展内容に関心をもっていただくことを目的に、特に小学生程度の年齢層を対象として実施した。



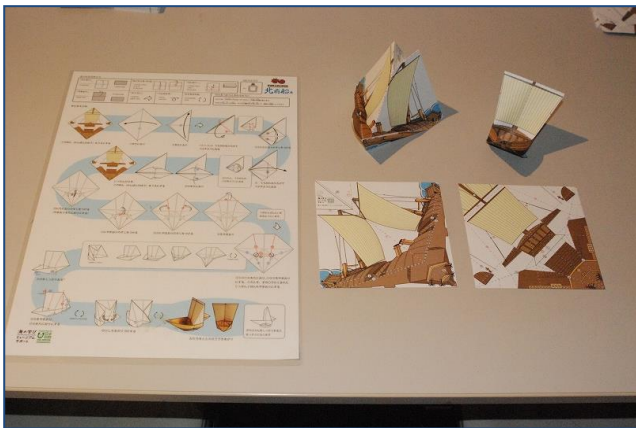
新潟県立歴史博物館会場



スタッフと協力して「北前船」の折紙づくり
新潟県立歴史博物館会場



来館者が折紙をつくる様子
兵庫県立歴史博物館会場



「北前船」の折紙完成品サンプル

【来館者の声】

- 久しぶりに折紙をして楽しかった。
- 折紙がよかった。
- 難しかったけど大人用もできた。

■船絵馬作り

【開催日：場所】

- ①平成27年 7月25日(土)、②7月26日(日)
③8月1日(土)、④8月2日(日)、⑤8月8日(土)
⑥8月15日(日)、⑦8月22日(土)、⑧8月23日(日)
：新潟県立歴史博物館 体験コーナー
⑨9月23日(水)、⑩9月26日(土)、⑪10月3日(土)
⑫10月4日(日)、⑬10月10日(土)、⑭10月11日(日)
⑮10月17日(土)、⑯10月24日(土)、⑰11月3日(火)
：兵庫県立歴史博物館 ロビー

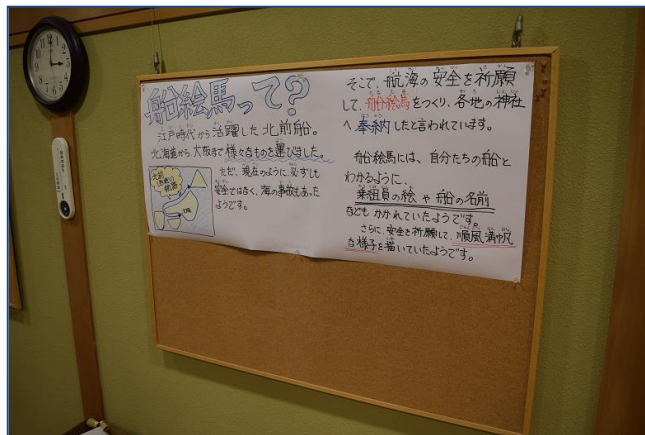
【参加者数】新潟会場①～⑧：計298人
兵庫県会場⑨～⑰：計238人
合計536人

【実施内容・目的】

- 船絵馬作りをとおして、展示資料にこめられた祈りや意味を知っていただく機会とした。
- 海で活躍していた人々、あるいはそれを陸で支えていた人々の想いを追体験することで、当時の人々の海との関わりについて再認識していただいた。



新潟県立歴史博物館会場の様子



「船絵馬」についての説明ボード



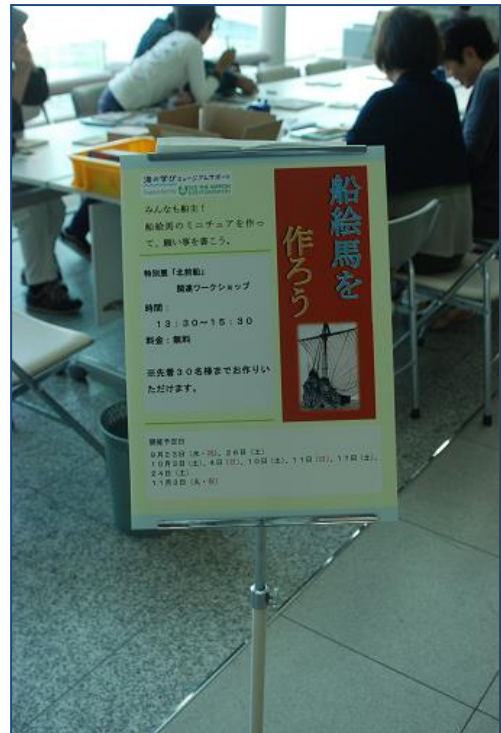
弁財船模型と製作した「船絵馬」



兵庫県立歴史博物館 会場の様子



「船絵馬」製作中



兵庫県立歴史博物館 会場の様子



船絵馬 完成

【来館者の声】

- 折紙作りや絵馬がよかった。
- 船に親しみが持てた。
- 久しぶりに絵を描いて無心になれた。

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はいけません。

■展覧会クイズラリー

【開催日：場所】

①平成27年7月25日（土）～9月6日（日）

：新潟県立歴史博物館 企画展示室

②平成27年9月19日（土）～11月3日（火）

：兵庫県立歴史博物館 ギャラリー1・2・3

【参加者数】①新潟会場：4,000人

②兵庫会場：3,500人

合計7,500人

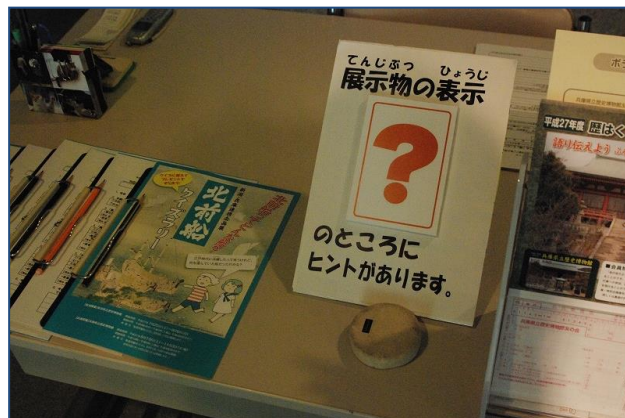
（いずれもクイズラリー用紙の会場での配布数による）

【実施内容・目的】

- 展示物をめぐるクイズを掲載し、親しみながら展示内容を学んでいただく機会とし、正解者用景品は企画展オリジナルのクリアファイルを用意した。
- 地域周辺の小学校団体の校外学習や、学校行事の一環として来館見学する際に活用した。



クイズラリー用紙の配布（兵庫会場）
・観覧者のうち希望者に配布



展示資料のうち、クイズの問題になっているものには「？」パネルを用意（写真は兵庫会場）



答え合わせコーナー（新潟会場）
・全問正解者にはクリアファイルをプレゼント



企画展オリジナルの
クリアファイル



解説ボランティアや会場監視員の援助を受けながらクイズに取り組む観覧者



一部に難しい問題もあったが、ヒントを得ると多くの方が全問正解していた。



じっくりと展示資料を見学してクイズに取り組む観覧者



クイズラリー用紙

【来館者の声】

- クイズのおかげで海産物の屏風を真剣に見た。
- クイズをとおして、資料の様々なところを探して、いろいろなことがわかった。
- クリアファイルがよかった。

■教員向け研修会（新潟県立歴史博物館のみ）

【開催日時】平成27年8月5日（水）14:00～16:40

【開催場所】新潟県立歴史博物館 研修室・企画展示室

【参加者数】20人

【実施内容・目的】

- 学校教育における博物館の活用として、歴史博物館ならではの視点から歴史分野や地域学習における展示資料の活用と教育プログラムを考えるため、実際に企画展を見学してもらい、今後について検討する機会とした。
- 学校団体で来館される生徒さんにも楽しみながら学べる参加型の学習として「展覧会クイズラリー」の活用等を紹介した。



研修室での担当学芸員によるレクチャー



企画展示室での解説



常設展示室での解説

【参加者の声】

- 日本海岸の各地にとって北前船が重要な役割をになっていたことがよく分かった。
- ニシンや綿の売買に象徴される特産物の売買で人々のくらしが豊かになったことや、港沿いの賑わいを想像するとわくわくする。
- 北前船の意義がよく分かった。教材として、当時の商品の流通だけでなく、人々の暮らしや生活なども子どもたちが考えるきっかけとして北前船を扱ってみたいと思った。

■レストランにおける北前船にちなんだメニューの提供

(新潟県立歴史博物館のみ)

【開催日時】平成27年7月25日(土)～9月6日(土)

※新潟会期中毎日提供、営業時間11:30～14:00

【開催場所】新潟県立歴史博物館 レストラン

【参加者数】13人

【実施内容・目的】

- 「北前船」が運んだ産物である昆布などの海産物を利用したメニューを提供し、食をとおして海の産物や海運について興味と関心を喚起した。
- 地域の学校と連携して特別メニューを考案することで、担当する生徒さんや学校側にとっても、「北前船」をテーマとした地域連携や地域学習につなげることができた。



北前船展特別メニュー
「鯧のフライ、トマトソース」



北前船展特別メニュー「鯧の蒲焼き丼」

【メニューを考案した長岡農業高校の生徒の声】

- 昔、船でどんなものが運ばれていたのか調べて勉強になった。
- さっぱりと食べられるように工夫した。

【メニューを注文して食べた一般の方の声】

- 昔、鯧はよく食べた。なつかしい。

【事業全体のまとめ】

- この展覧会では、北前船の活動を紹介する諸資料を幅広く収集することを目指した。
- 展示内容に関しては、産物マグネットや船首バナーなど、より効果的に海の学びにつなげるための工夫を試みることができた。
- 関連事業としては、通常実施する会場内での講演会に加えて、会場から遠隔地の方々にも聴講していただきやすくする試みとして、リレー講演会を開催することができた。
- また、折紙作りや船絵馬作り、展覧会クイズラリーといった付帯事業はいずれも好評で、多くの方々に、単に展示を観覧するよりもより楽しみながら海の学びを深めていただくことができた。
- 全体として展示内容がやや難易度の高さを克服しきれなかったこともあり、観覧者数が目標に達しなかった点は反省点である。
- しかしながら、上記した展示の工夫や付帯事業を実施したことによって、通常の展覧会として開催するよりはるかに展示内容の理解を深めていただくことができたと考えている。
- この展覧会が、江戸から明治にかけての北前船の姿を知ることとおして、海が歴史の中において果たした、物流の大動脈としての役割や、地域間交流の基礎としての意義への理解を深め、海に親しんでいただく契機となっていれば幸いである。

3. 主な連携・協力先について

連携・協力先名称	連携・協力の内容
1. 村上市教育委員会	リレー講演会の開催協力、後援
2. 新潟市教育委員会	リレー講演会の開催協力、後援
3. 上越市教育委員会	リレー講演会の開催協力、後援
4. 佐渡市教育委員会	リレー講演会の開催協力、後援
5. 神戸市教育委員会	リレー講演会の開催協力、後援
6. 新温泉町教育委員会	リレー講演会の開催協力、後援
7. 新温泉町諸寄財産区	リレー講演会の開催協力

4. 主な広報結果について

掲載媒体名	見出し、掲載日
1. 新潟日報 こども新聞ふむふむ	海の道〈前編〉No.144 2015年7月14日(火)
2. 新潟日報	圧巻 海運史語る逸品 長岡・歴博「北前船展」きょう開幕、2015年7月25日(土)朝刊
3. 新潟日報	県立歴史博物館 9月6日まで「北前船」展 寄港地の暮らし紹介、2015年7月28日(火)朝刊
4. 新潟日報	ニシン運搬が出发点 新潟で北前船リレー講演会 神戸商船大松木名誉教授が解説、2015年8月6日(木)朝刊
5. 新潟日報	長岡・歴博開館15周年記念「北前船」展 6日まで 富もたらした様子紹介、2015年8月28日(金)朝刊
6. 神戸新聞	「経済支えた歴史探る」2015年8月28日(金)朝刊、など(※詳細は広報成果写しのとおり)。
7. 朝日新聞	「『北前船』の資料 模型や絵馬展示」2015年10月20日(火)朝刊
8. サンテレビジョン	2015年9月25日 ニュースポート神戸発にて紹介。
9. 染織情報α 2015年10月号	「北前船」と木綿、兵庫会場展覧会案内、2015年10月1日発行。
10. 染織情報α 2015年11月号	山形と近畿地方との紅花商い、木綿商い、兵庫会場展覧会案内、2015年11月1日発行。

以上